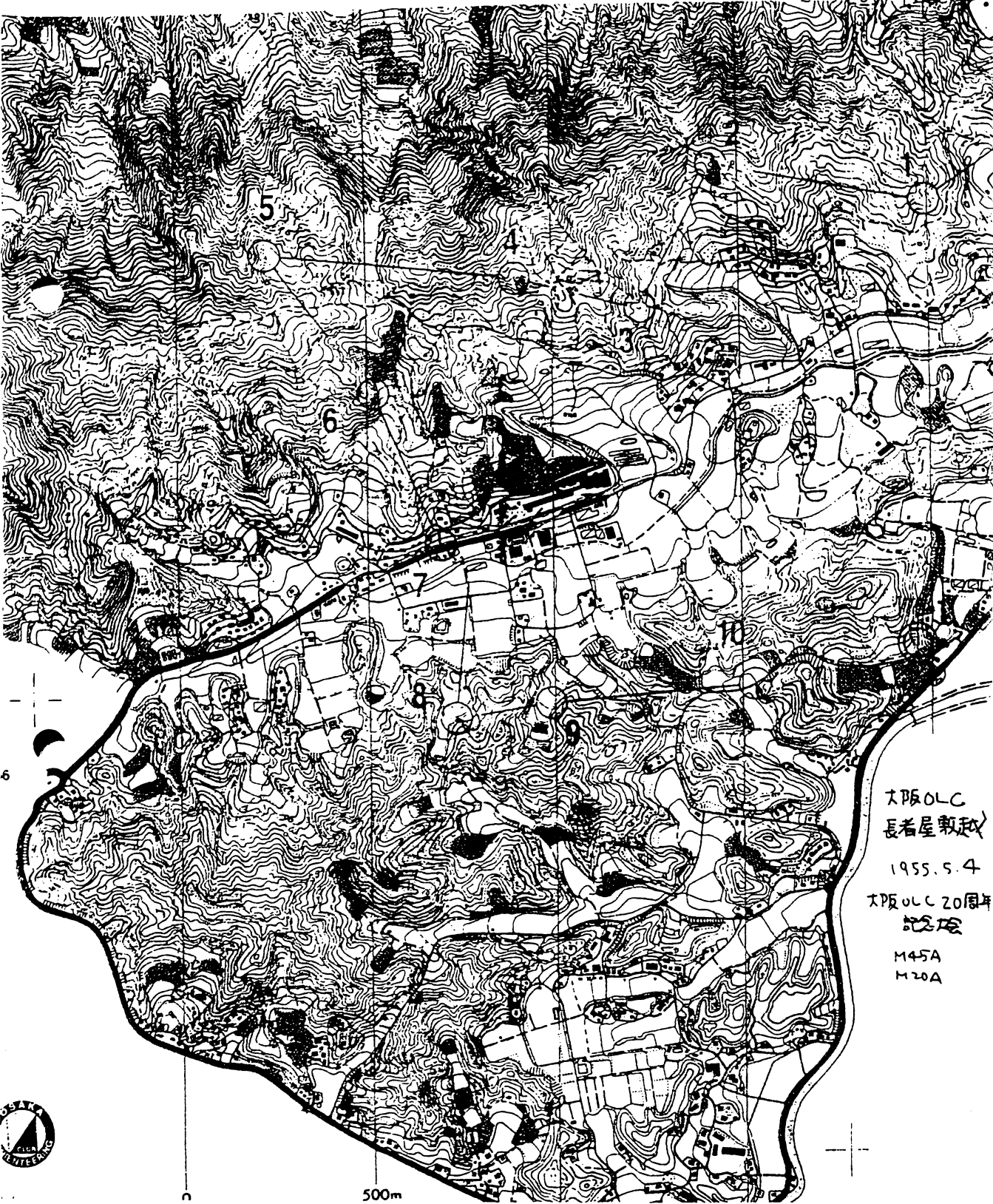


KOLA

岸和田オリエンテーリング協会
[編集部] 〒594
和泉市 上代町 687番地の2
横田 実 (TEL 0725-46-2208)
第140号 1995年6月2日発行



大阪OLC
長者屋敷越
1955.5.4
大阪OLC 20周年
記念図
M45A
M20A



500m

大阪OL20周年大会

by よこたみのる

最近、雨が多いですね。事前申し込みを忘れていたので、当日どうしようかと考えていたのですが、幸い天気は曇り。オリエンテーリングには良い日和でした。

集合場所は？時間は？…要項を職場に忘れてきてしまい、前日に強氏に電話を入れて確認。「家族で行くので車で行こうかな？」とのたまうと「駐車券を取っているが私たちは電車で行くので譲ってあげる」と親切なお言葉。そのお言葉に甘えて当日は自動車で現地に向かった。ただし連休中ということもあり早くでなければと思っていたのに、寝坊して結局家を出たのは8時を過ぎていた。

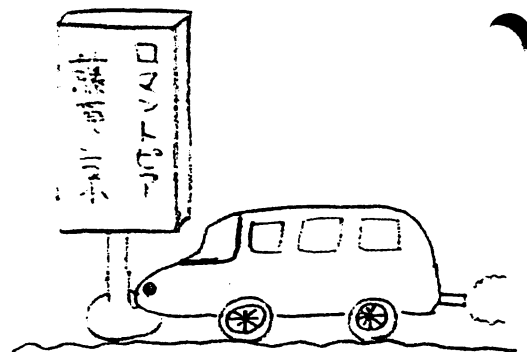
行きは大した渋滞もなく1時間30分ほどで現地に到着。途中で給水ポイントやトリム用のコントロールと思われるものを幾つか車の中から発見もした。受け付けを通過したのはいいのだが、オープン参加のためスタート時刻が11時30分とかなり待たされる羽目となった。

この頃運動不足で、どうしても走力が劣ってしまい、地図読みを正確にしようと考えたのが良かったのか、タイム的にはなかなかのものだった。途中のロングレグには参ったが、ゆっくりとだが走り続けられたのが良かったようだ。地図もどこかの大会とは違い大変見やすく、走りやすかった。

今回のこの大会で興味を引いたのは、なんといっても自動タイム計測装置。運営していた側の感想も聞かせてほしいですね。一体どうやっていたのだろう。次回の『大輪言』が楽しみです。でも、強氏の速報がなかなか出なかったのは、何故だろう。

行きはそんなに込んでいなかったのですが、帰りは二上山の横を越えて帰るつもりが、大変な渋滞。『ロマンピア藤原京』なるものの帰りの渋滞に巻き込まれてしまった。こんなイベントをやっているなんて知らないものだから…。どっと疲れが出た一日でした。

クラス	名前	タイム
OA	横田 実	1時間 9分23秒
M20A	平山 友啓	1時間10分24秒
M20A	白川 努	1時間37分47秒
M18A	今井 啓裕	1時間57分10秒
????	永瀬 真一	1時間48分17秒
????	寺田 強	?時間??分??秒
M45A	寺田 保	1時間36分00秒
W35B	村橋 ティ子	?時間??分??秒



<OL座談会>第7話「コンペ編 プロローグ」

黒 こんにちは、OL座談会でございます。本日のOL座談会は5月16日 朝0時！！
岸 何でまたこんな時間にとお思いの方もいるでしょうが、勉強の合間の息抜きという奴
です。 (今回は中間テストの前日に書いています)

黒 なんか、作者の趣味で書いてませんか？

岸 気のせいだ！！

黒 しかも時間の都合上、猪上君がレギュラー外されたって聞きましたけど？

岸 (ぎく！！) いっ、いや、気のせいだ！！

黒 まあいいですけどね。と言うことはレギュラーが一人足りないって事ですね。

岸 そうなんだよな。それが問題なんだ、かといってゲストの“S社長”や“ひらやま”
君は時間的には猪上よりも厳しいしな。

黒 座談会と言うからには最低三人は欲しいですよ。

注 私なんかどうです？ 一応、何度か出た経験ありますよ。

岸 あんたの仕事は注釈でしょうが！ しかし、ほかに人はいないしなあ……。

黒 KOLAの人に頼んでみるというのはどうでしょう？みなさんから募集するんです。

岸 なるほど、その手があったか！ よし、募集内容は以下の通りだ！！

黒 キャラクター募集！！ 個性的なキャラクターを容貌、性格を決めて送ってください。
とりあえず、応募手段は作者の手に届けば自由です。ちなみにわかると思いますが
作者は岸本知久です。名簿を見てください。

岸 と言うことでよろしく。“注釈”君は準レギュラーとして今回から参加だ！！

黒 もう、半分以上終わってますけどね。

注 やった！！ 僕もレギュラーだ。(黒：ただし、あくまで準レギュラーですけど)

岸 さて、オリエンテーリングの話ですけど……。

黒 ここんとこ行ってませんね。

注 そりゃあ、やっぱり出不精だからでしょう。

岸 雨は嫌いなんだよ！！

黒 でもどうするんです？ 今度のテスト明けにあるコンペは？

注 初戦から雨が嫌だから出ないと言うのはちょっと問題がありますよ。

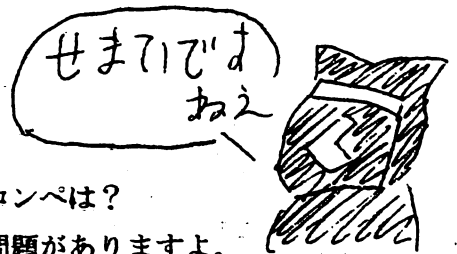
岸 なんか、黒子が二人になったみたいだな。ちょっと嫌かも……。

黒 そうこう言ってるうちにもうページが無いですよ。

岸 げげげ！！ やばい！！ ともあれコンペには出る予定です！！

黒 それでは次回、ザ・コンペ編でお会いしましょう。

注 みなさん、私をよろしく！！



第1章 総則

【目的】

第1条 この基準は、日本における「トリム・オリエンテーリング（以下トリムOという）」の実施について、その方法等に関する標準を社団法人日本オリエンテーリング協会（以下協会という）が定めたものである。

【定義】

第2条 トリムOとは国民の健康・体力づくりの手段とするとともに、広く一般にオリエンテーリングへの参加の機会を提供するために開発されたもので、だれもがオリエンテーリングについての特別な知識や経験を有することなく参加できるスポーツである。

【形式の種類】

第3条 形式の種類はポイント・オリエンテーリング（以下ポイントOという）と、スコアー・オリエンテーリング（以下スコアーOという）とする。いずれにおいても参加者はコースの全部分を主催者の定めに従って、徒歩もしくは走歩で完歩あるいは完走するものとする。

【参加単位とクラス】

第4条 参加について主催者はその大会の内容などにより、一部もしくは全ての参加単位を個人、あるいは2名を1組とするペア、もしくは数名を1組とするパーティー（以下これら個人、ペア、パーティーなどの参加単位を参加者という）などに指定することができる。また、参加者は原則として、その年齢やオリエンテーリング経験などにより、いくつかのクラスに分類される。

第2章 ポイントO

【形式】

第5条 ポイントOとは、できるだけ短時間に全ての所定のコントロールを通過してゴールする形式をいう。コントロールとは参加者に通過するよう主催者が指定する地点をいい、地図上と地上にその位置が表示される。コントロールは主催者が地図上に指定する順番どりに回らなければならない。コースは原則として複数を設定し、クラスごとに出場するコースを指定する。

主催者は、コースなどの大会管理に問題がない場合は、コントロールを回る順番を特に指定しないフリー・ポイントOを採用することができる。

【スタートの方法】

第6条 タイム・スタートあるいはマス・スタートとする。

1. タイム・スタート：一定の時間間隔においてコースごとに1参加単位ずつスタートさせる。時間間隔は最小1分とする。コースごとのクラスのスタート順は原則として、完走歩に長時間を要すると考えられるクラスを先とする。

2. マス・スタート：全参加者を同時にスタートさせる。

【スタートとコントロールならびにゴールなどの表示】

第7条 スタートの位置、全てのコントロールの位置とその回る順序、およびゴールの位置は、参加者に渡す競技用地図に記す。コースに昼食地点や特別な誘導区間などがあるときは、それらの位置も明確に記す。また、地上においては、これらの位置はそれぞれこの基準に定める方法で明確に表示する。

【マスターマップによるコースなどの提示】

第8条 第7条にいう位置などの提示をマスターマップを使用して行うことができる。マスターマップとは第7条にいう諸地点の位置などを記載した現地地図をいい、参加者はスタート後に、これらの位置などを主催者から支給された競技用地図に書き写す。

【順位の決定】

第9条 順位の決定は、原則としてつぎのいずれかの方法によるものとする。どちらの方法によるのか、あるいは他のなんらかの方法によるのかは、スタート前に全参加者に明確に告知することとする。

1. スタート前に告知されたゴール閉鎖時刻までに全コントロールを通過してゴールした参加者を、クラスごとにその所要時間の短かった順に順位をつける。閉鎖時刻までにゴールできなかった参加者、通過できなかったコントロールを有する参加者、全コントロールを通過しなかったと認定された参加者は、全て失格とする。参加単位がペア、あるいはパーティーの場合は、それぞれペア一の両者あるいはパーティー全員がゴールに入った時刻をもってゴール時間とする。
2. ゴール閉鎖時刻までに全コントロールを通過してゴールした参加者については上記1と同じ。通過しなかったコントロールを有する参加者については、その所要時間に、通過しなかったコントロール1個ごとにペナルティ・タイムを加算した時間をもって最終所要時間とし、その最終所要時間の短い順に、ペナルティ0の参加者の後位につける。すなわち、ペナルティ0で2時間を要した者の方が、ペナルティ1で最終所要時間1時間45分となった者より上位となる。ゴール閉鎖時刻までにゴールしなかった参加者は失格とする。ペナルティ・タイムとは原則として、コースごとに、完走歩に要すると主催者が予測した時間に150%を乗じた時間を、そのコースのコントロール数で割った時間とする。

第3章 スコアーO

【形式】

第10条 スコアーOとは、異なる得点の付された多数のコントロールの内より、任意の数のコントロールを任意の順に通過し、定められた制限時間内にできるだけ多くの得点を集めてゴールする形式をいう。コントロールに付される得点は、到達への難易度とゴールへの遠近差などにより定める。

【スタートの方法】

第11条 原則として、全参加者が同時にスタートするマス・スタート方式による。

【制限時間】

第12条 クラスにより、60分、90分、120分とする。原則として、60分以下、あるいは120分以上としない。

【スタート、コントロール、ゴールの位置およびコントロール得点の提示】

第13条 スタート、コントロール、コントロールならびにゴールの位置、各コントロールに付された得点などは全て、参加者に支給する競技用地図に記載する。マスターマップは原則として使用しない。

【順位の決定】

第14条 制限時間内にゴールした参加者をクラスごとに、その合計得点の高位の者から順位をつける。制限時間を超過してゴールした者は、10秒ごとに1点を減して、合計得点とする。合計得点が高点の者は、原則として全て同位とする。ゴール閉鎖時刻までにゴールしなかった参加者は全て失格とする。

第4章 主催者

【役員】

第15条 主催者は企画、準備、コース設定および当日の運営、コースの巡回等処理するため役員をおくこととする。また原則として、運営責任者、コース設定責任者など各部署の責任者には協会公認指導員を当てることとする。

【公私有地の尊重と自然の保護】

第16条 主催者は参加者が耕作地、立入禁止区域等を通過することが予測されるようなコースを設定しないように努める。

【開催日、開催場所の決定】

第17条 開催日、開催場所の決定にあたっては、狩猟期間や、参加者に危害を加える動物等を考慮し、参加者の安全に十分配慮しなければならない。

【開催の告知】

第18条 主催者は遅くとも開催日の2カ月前までに、少なくとも以下の事項をできるだけ多くの人にわかるよう何らかの方法によって発表することとする。

1. 開催日
2. 集合場所および集合時刻
3. 競技の形式
4. 参加単位、クラスとコースの距離
5. 申込先および申込締切日
6. コンパスの貸し出しの有無
7. 参加料
8. その他(服装、持参品など)

【参加の承諾】

第19条 主催者は申込者に対し、必ずしも受付通知を送る必要はない。ただし、受け入れが不可能な申込者に対しはその旨を、できるだけ早く通知すること。

【集合場所】

第20条 集合場所は参加者にわかりやすい場所とする。

【大会センター】

第21条 大会開催当日には大会センターを設ける。大会センターは第18条にいう「開催の告知」で案内した「集合場所」に設けることが望ましいが、別の場所に設けて、集合場所から誘導してもよい。大会センターにはつぎのようなセクションを置く。

1. 第1受付: コントロール・カードを1枚と、プログラム、説明書、注意事項などを交付する。コントロール・カードとは、参加者がコントロールで到達の証明に、所定の方法で「印」を記入してくるカードを言う。
2. コントロール・カード記入所: コントロール・カードに必要な事項を記入させる。大会当日にクラス分けを行う場合は、クラス分け基準を掲示して、クラス名を記入させることができる。
3. 説明所: 競技ルール、地図とコンパスなどについての説明を行う。また、つぎの事項について、周知徹底を図る。
 - 1) スタート地点までの距離と所要時間、ならびにルート
 - 2) 当日使用するコントロール・フラッグ、パンチ器具と記印方法
 - 3) ゴール閉鎖時刻と最終コントロール撤去時刻
スコア〇においては、クラスごとの制限時間
 - 4) その他、安全などについての、特別な注意事項
 - 5) 大会センター内の案内(本部やトイレなど)
4. 第2受付: コントロール・カードにスタート時刻を記入し、スタート地点に向かわせる。
5. ゴール: ゴールを別の場所に設けることもできるが、ゴール後の参加者の把握やサービスの提供などの点から、ゴールは大会センターに設けることが望ましい。
6. 救急医療所: 野外活動にともなうすり傷、切り傷、捻挫などへの対応準備。
7. 本部やトイレなどの運営・付帯機関

【地図】

第22条 使用する地図は原則として、〇・マップ(オリエンテーリング競技用地図)あるいは国土地理院や市町村もしくはそれらに準じる機関などが発行する縮尺1万分の1ないし1万5千分の1の地形図とする。

【スタート地点】

第23条 スタート地点には、スタート待機ゾーンとスタート枠を設ける。参加者は与えられたスタート時刻の少なくとも5分前にスタート待機ゾーンに入らなければならない。

【スタート】

第24条 参加者は指定された時刻にスタートする。

1. 主催者はスタート待機ゾーンにいる参加者を、あらかじめ説明所やスタート待機ゾーンに告知した一定の方式によりスタート枠に入れる。
2. 指定したスタート時刻より遅れてスタート地点に到着した参加者は、できるだけ直ちにスタートさせるが、指定したスタート時刻を所要時間計測の起點時刻とする。
3. 主催者側の過失によりスタートが遅れた参加者には、新たにスタート時刻を与える。
4. 主催者はスタート枠に入った参加者をなんらかの方法により記録する。

【競技用地図の支給】

第25条 地図は参加者に原則として1枚、コントロールなどの位置(第7条)を記入した地図を、スタート時あるいはスタートの一定の時間前に支給する。コントロールなどの記入は透明な赤紫色で行い、使用する記号は協会が定める「オリエンテーリング競技規則(以下競技規則という)」が規定するものあるいはそれに準ずるものとする。

1. スタート地点: スタート枠最前枠から明確に見える位置にコントロール・フラッグを1個置き、その位置を中心とする一辺7mの正三角形を、第1コントロールに向けて。オリエンテーリングの開始地点がスタート地点の先に設けられている場合は、その地点を正三角形の中心とする。ただし、後者の方法をとする場合は、スタート地点と開始地点に誘導路を設けるとともに、この方法について参加者に事前に周知せしめること。
2. コントロール: 直径5~6mの円。コントロールとなっている地図上の特徴物・地点を、正確に中心位置とする。
3. ゴール: 直径5mと7mの2重同心円。
4. 昼食コントロール、誘導ルートなど: あらかじめ参加者に案内した記号で記すとともに、地図面にも注記する。
5. ポイント〇においては、スタート、コントロール、ゴールなどは回る順に直線で結び、コントロールには回る順に1から番号を付す。番号は正置する。
6. スコア〇においては、全てのコントロールに2桁ないし3桁のコントロール記号を数字で付ける。その際、記号から明々のコントロールの得点が知り得ることが望ましい。

【マスターマップ掲示地点】

第26条 マスターマップを使用する場合は、つぎの諸点を守ることとする。

1. 掲示地点はスタート地点の先とし、スタート地点からストリーマーなどで誘導する。
2. マスターマップ掲示地点を、地図上においてスタート地点を示す正三角形の中心とする。
3. 掲示地点は、そこからコースに入って行く参加者の進行方向が、スタート地点に待機する参加者に見えない場所とする。
4. マスターマップの転記に要する時間を配慮し、掲示地点には十分な数のマスターマップを用意するとともに、汚/破損などを防止するため透明ケースなどに入れる。

【コントロール位置説明表】

第27条 競技規則に基づく「コントロール位置説明表」を競技用地図に添付すること。位置説明は日本語表記によってもよい。

【コントロール・フラッグとパンチ器具】

第28条 すべてのコントロールにはつぎの基準に基づいて、コントロール・フラッグとパンチ器具を置く。パンチ器具とはコントロールに到達した参加者が到達を証明するために、コントロール・カードに印しをつけるための器具をいう。

1. コントロール・フラッグは3面柱状で、各面は30×30cmの正方形とし、各面を対角線によって2分し、白とオレンジに色分けする。3面のうち少なくとも2面は、上半分を白とする。
2. コントロール・フラッグは地図上に示された特徴物に、その特徴物に到達した参加者に見えるように吊るす。コントロール・フラッグが吊るされた実際の位置は、コントロール位置説明と合致していなければならない。
3. なるべく他の参加者の存在によって、コントロール到達の難易度が左右されないように配慮する。
4. すべてのコントロールには、識別のためのコントロール記号を、参加者がパンチ器具を使用するときに明確に見えるようにつける。コントロール記号は3以上の2~3桁の数字とするが、混同しやすい数(66,68,86,89,98,99など)は使ってはならない。数字は白地に黒色で、高さ50~100mm、太さ5~10mmで記す。
5. コントロール・フラッグ、パンチ器具などは、コース毎に同一の仕様とする。パンチ器具は十分な数を、コントロール・フラッグと共に見える位置に備える。パンチ器具は、クレヨンやスタンプなどにより代用することができるが、多数の参加者による使用に耐えるものでなければならない。

【昼食コントロール】

第30条 昼食をコースの途中でとらせる場合には昼食コントロールを設け、係員を配置する。係員は到着した参加者の到着時刻を計時し、一定の昼食時間を加算した出発時刻をコントロール・カードに記入する。出発に際しては、出発時刻を確認し確認印を印してスタートさせる。一定の昼食時間は40～60分とする。この昼食時間は所要時間を含め、昼食コントロールで昼食をとらなかった場合にも加算する。

【ゴール、計時および速報】

第31条 ゴールラインはゴール進入路と直角に、参加者に明確にわかるように設ける。主催者は参加者がゴールラインを越えた時点で計時し、直ちにコントロール・カードを回収する。所要時間の算出は原則として個々の参加者のゴール後速やかに、順位などの結果をなんらかの形で速報する。主催者は必要な場合は地図も回収することができる。

【立入禁止区域および危険区域】

第32条 耕作地や果樹園、植林地など参加者が立ち入ってはならない区域はコースからできる限り外すようにするとともに、立入禁止区域を地図上に参加者にわかりやすいように表示する。また、その地図表示の意味についての注意書を「説明所」と「スタート地点」に掲示する。可能であれば、地上においても区域の外郭にテープかストリーマーをつける。危険区域についても同様の措置をとるとともに、可能な限りテープなどを用いて地上にも表示する。

【入賞】

第33条 入賞の対象は原則として、クラスごとにつきのとおりとする。
1. ポイント0においては、各クラスとも入賞時間内にペナルティ0でゴールした参加者とする。入賞時間とはクラスごとにそれぞれ上位3参加者の平均所要時間、その25%を加算した時間とする。
2. スコア0においては、各クラスとも得点が入賞得点に達した参加者とする。入賞得点とは各クラスごとにそれぞれ上位3参加者の平均得点と、その25%を加算した得点とする。

【表彰】

第34条 入賞者に賞状あるいはメダル、バッジ等を与えることができる。ただし、原則として、賞金を与えることはしない。

【成績の発表】

第35条 主催者は後日、全参加者の成績を記した成績表を発表することが望ましい。

【参加料】

第35条 主催者は原則として、参加者から参加料を徴収する。

第5章 参加者

【参加資格】

第36条 参加の意志をもつ者は、年齢、性別を問わず参加することができる。ただし、主催者の参加要綱によることとする。

【参加申込】

第37条 参加者は主催者の定める方法によって申込みを行う。

【服装】

第38条 主催者が特に定めない限り自由である。しかし、長袖、長ズボン、厚底の運動靴など、一般的野外活動に適した身軽な服装が好ましい。

【用具】

第39条 参加者が用意すべきものは通常以下の通りである。
1. プロトラクター型コンパス（シルバコンパスなど）。
2. 指あるいは赤ボールペンまたはそれに類するもの。
3. その他、腕時計、マップケースあるいは地図保護用透明袋、缶、飲料水など。
4. 上記以外の器具（双眼鏡など）をコース内で携帯してはならない。

【自然の保護】

第40条 参加者は自然を傷つけない、植林地や囲いの中に入ってはならない。また、コース内においては、飲食にともなう容器などのゴミの投棄、喫煙などの火気の使用をしてはならない。

【薬 備】

第41条 コースの途中で薬備する場合は必ず係員にその旨を届け出て、コントロール・カードを手渡すとともに、速やかにコースから出ること。薬備した参加者は他の参加者を援助したり、運営を妨害したりしてはならない。

【救護の要請】

第42条 事故あるいは体調不全などにより、主催者よりの救助派遣を必要とするに至ったときは、主催者へのその旨の連絡を他の参加者に依頼することができる。依頼したときは、その場所から移動せず、主催者の救助を待つこと。また、依頼された参加者は直ちに競技を中止し、主催者側係員に連絡をとること。

【マナー】

第43条 参加者はフェアに行動し、いかなる場合も主催者の指示に従わなければならない。ペアーやパーティーが分散して行動したり、他の参加者の後に故意についたり、第3者の援助を受けたり、開催日前にコース地域に立ち入ったりするなど、不正な手段によって自己の利益を図ってはならない。また、コントロール・マークを動かしたり、コントロール記号を変えたりするなどして、他の参加者を妨害してはならない。いったんゴールした参加者は再びコースに立ち入ってはならない。

【安全への責任】

第44条 参加者は自己の安全について自分で責任をもたなければならない。参加者が負った怪我、損害、損失等に主催者はいっさい責任をもたない。また参加者が与えた他への損害の責任はその参加者がとらなければならない。

第6章 クラス分けとコースの距離、制限時間など

【クラス分けとコース距離、制限時間】

第45条 参加者の成績評価を公正に保ち得るよう原則として、性別や年齢、オリエンテーリングにおける経験度などにより、参加者を適宜に幾つかのクラスに分ける。つきに示すクラス分けは、広く一般より参加者を募る場合に適用する。

クラス名	ペアー、パーティーの構成	距離 ポイント(°)	制限時間 スコア(°)
男子	15才から55才までの男子	6～8 km	120分
女子	15才から50才までの女子	4～6	90
混合	男子(15-55才)、女子(15-50才)	5～7	90
シニア	男子(56才以上)、女子(51才以上)、もしくはこれらの混合	4～6	60
家族	14才まで、あるいは56才以上の男子、もしくは51才以上の女子のいずれかを含む	4～6	60
少年少女	14才までの男児もしくは女児のみ、あるいはこれらの混合	4～6	60

注：参加者の経験度に著しい差異があると見られるクラスにおいては、それらのクラスをさらに分け、クラス名の末尾にA（経験者ペアー、パーティー）、B（初心者ペアー、パーティー）を付ける。（例：男子A、男子B）。

付 則

第46条 この実施基準は、平成8年4月1日から施行する。

第47条 日本オリエンテーリング委員会が定めた「徒歩オリエンテーリング実施基準」は本実施基準の発効をもって失効する。

走れ! KOLA

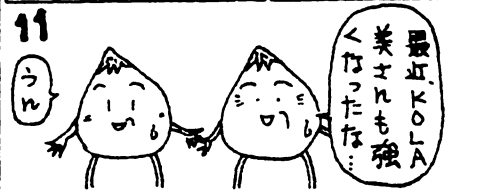
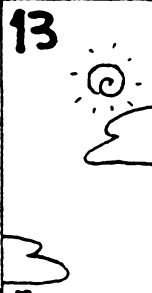
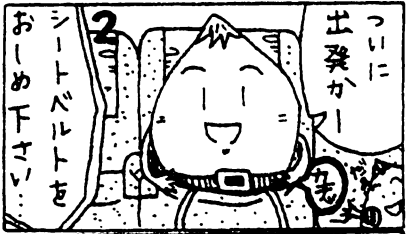
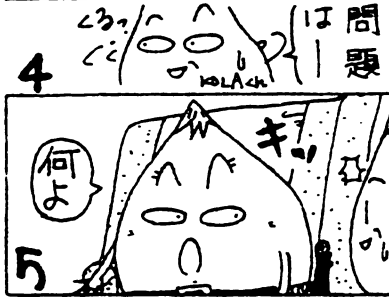
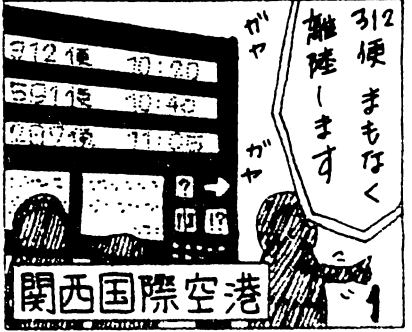
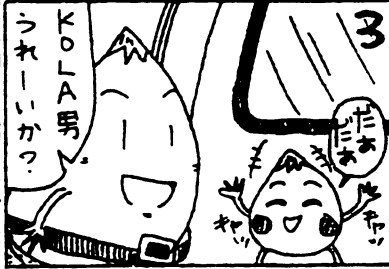
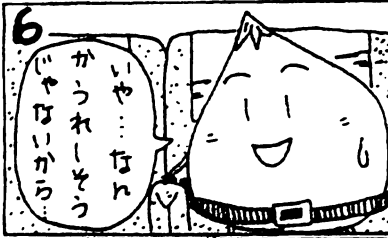
No. 26 作/ガン太

Round 4

「家族旅行!?!」

KOLA'S

FAMILY



Present
by ガン太 = 次号予告 =
777 Round 5 「地獄の家族旅行!!」



KOLA 6月～ 大会情報&エントリー (出場予定) 情況

6/11	地図読みハイク 葛城山縦走	大阪府南部	6/4 翌可	06-853-4062 岩井	
18	ザコンベII 光明池	堺市光明池	6/11 翌可	0725-41-6814 池田	
25	関西学連第2回定例戦	交野市 黒瀬池	5/20	07437-9-2833 中井	
7/2	ロングOL大会	富士市 狩野崎	6/15	0543-34-9754 村越	
9	炬OLC ザコンベIII	大阪城公園	7/2	06-301-2495 小園	
15~23	CANADAOLフェスティバル	エドモントン/カナダ		03-3212-5811 田口	
16	近畿OLC連絡会				
24~28	O-RINGEN	スウェーデン/スウェーデン			
8/5	☆KOLAナイトOL	大阪城公園		0724-43-4904 細井	
6	第15回 コンターズ練習会	服部緑地公園	7/29 翌可	06-831-2368 辻村	
8/20	炬OLC ザコンベIV	服部緑地公園	8/13	06-852-7987 藤井	
19~20	炬OLC サマーキャンプ	嵯峨山高原		06-853-4062 岩井	

シーズンオフの暑い夏、ナイトOはお薦め!

もっと自然に.....オリエンテーリング!

☆・印は、事務局に要項があります。ご連絡ください。

- ◆ 大会もシーズンオフ、大会開催も少なくなって来ました。各クラブではサマーキャンプ等 鍛えるメニューが出て来ます。自分の意欲と好み?で出場を決めてみては。

詳細については事務局までお問い合わせを。

7月2日(日) 再度お集まりください。

午前11時～午後5時頃まで

KOLAハウス (寺田 氏宅庭) にて

橋本大会の反省&慰労会そして臨時総会

当然? 軽飲食を用意します。暑いのにいつもの焼き肉か~?! 聞きたいこと、言いたいこと 何でも話し合って21年目の岸和田OL協会をみんなで考えましょう。

どっKOLAしょうりーコンベの発表・表彰も行います。

編集長の横田 (僕です) が6月に引っ越します。まぁいろんな事情がありまして、この会報が届く頃には藤井寺に住んでいることになります (妻の実家の近くです)。職場へは、現在車で15分弱しかかからないのですが、引っ越すと50分近くかかりそうですし、飲みに行くのにも、少々不便をしそうです。10年は住むつもりで購入した自宅を売却してしまい、当分は気楽な借家暮らしになりそうです。来月号で電話番号などお知らせしますので、またよろしくお願ひします。